

■港湾投資の評価に関する解説書2011に掲載の原単位の更新について(新旧比較表)

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト																													
現行解説書	解説書改定版																												
<p>P2-1-15</p> <p>表2-1-6 コンテナ1個当りの貨物量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテナタイプ</th> <th>貨物量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20フィート</td> <td>18.3 トン</td> </tr> <tr> <td>40フィート</td> <td>27.5 トン</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)2007年の全国の貨物動向より設定</p>	コンテナタイプ	貨物量	20フィート	18.3 トン	40フィート	27.5 トン	<p>P2-1-15</p> <p>表2-1-6 コンテナ1個当りの貨物量</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コンテナタイプ</th> <th>貨物量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20フィート</td> <td>18.1 トン</td> </tr> <tr> <td>40フィート</td> <td>27.2 トン</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)2013年の全国の貨物動向より設定</p>	コンテナタイプ	貨物量	20フィート	18.1 トン	40フィート	27.2 トン																
コンテナタイプ	貨物量																												
20フィート	18.3 トン																												
40フィート	27.5 トン																												
コンテナタイプ	貨物量																												
20フィート	18.1 トン																												
40フィート	27.2 トン																												
<p>P2-1-28</p> <p>表2-1-9 陸上輸送の走行速度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>道路区分</th> <th>走行速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般道路</td> <td>34.5 km/h</td> </tr> <tr> <td>高速道路</td> <td>73.1 km/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典)「平成17年度道路交通センサス」((社)交通工学研究会、平成19年8月)                      (注) 道路種別別沿道状況別改良未改良別整備未整備別12時間平均交通量表(全国、平日)の混雑時平均旅行速度の高速道路計、および一般道計より設定</p>	道路区分	走行速度	一般道路	34.5 km/h	高速道路	73.1 km/h	<p>P2-1-28</p> <p>表2-1-9 陸上輸送の走行速度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>道路区分</th> <th>走行速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般道路</td> <td>33.3 km/h</td> </tr> <tr> <td>高速道路</td> <td>72.4 km/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典)「平成22年度道路交通センサス」((社)交通工学研究会、平成24年12月)                      (注) 道路種別別沿道状況別改良未改良別整備未整備別12時間平均交通量表(全国、平日)の混雑時平均旅行速度の高速道路計、および一般道計より設定</p>	道路区分	走行速度	一般道路	33.3 km/h	高速道路	72.4 km/h																
道路区分	走行速度																												
一般道路	34.5 km/h																												
高速道路	73.1 km/h																												
道路区分	走行速度																												
一般道路	33.3 km/h																												
高速道路	72.4 km/h																												
<p>P2-1-30</p> <p>表2-1-11 海上輸送の航行速度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>船型</th> <th>航行速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500 TEU</td> <td>16.3 ノット</td> </tr> <tr> <td>1,000 TEU</td> <td>18.6 ノット</td> </tr> <tr> <td>2,000 TEU</td> <td>20.9 ノット</td> </tr> <tr> <td>4,000 TEU</td> <td>23.2 ノット</td> </tr> <tr> <td>6,000 TEU</td> <td>24.5 ノット</td> </tr> <tr> <td>8,000 TEU以上</td> <td>25.5 ノット</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)「国際輸送ハンドブック2009年版」を元に算出</p>	船型	航行速度	500 TEU	16.3 ノット	1,000 TEU	18.6 ノット	2,000 TEU	20.9 ノット	4,000 TEU	23.2 ノット	6,000 TEU	24.5 ノット	8,000 TEU以上	25.5 ノット	<p>P2-1-30</p> <p>表2-1-11 海上輸送の航行速度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>船型</th> <th>航行速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500 TEU</td> <td>11.4 ノット</td> </tr> <tr> <td>1,000 TEU</td> <td>13.0 ノット</td> </tr> <tr> <td>2,000 TEU</td> <td>14.6 ノット</td> </tr> <tr> <td>4,000 TEU</td> <td>16.2 ノット</td> </tr> <tr> <td>6,000 TEU</td> <td>17.2 ノット</td> </tr> <tr> <td>8,000 TEU以上</td> <td>17.9 ノット</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注)「国際輸送ハンドブック2015年版」を元に算出</p>	船型	航行速度	500 TEU	11.4 ノット	1,000 TEU	13.0 ノット	2,000 TEU	14.6 ノット	4,000 TEU	16.2 ノット	6,000 TEU	17.2 ノット	8,000 TEU以上	17.9 ノット
船型	航行速度																												
500 TEU	16.3 ノット																												
1,000 TEU	18.6 ノット																												
2,000 TEU	20.9 ノット																												
4,000 TEU	23.2 ノット																												
6,000 TEU	24.5 ノット																												
8,000 TEU以上	25.5 ノット																												
船型	航行速度																												
500 TEU	11.4 ノット																												
1,000 TEU	13.0 ノット																												
2,000 TEU	14.6 ノット																												
4,000 TEU	16.2 ノット																												
6,000 TEU	17.2 ノット																												
8,000 TEU以上	17.9 ノット																												

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-1-32

表2-1-13 コンテナ1個当たりの陸上輸送費用

(20ftコンテナ)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円
5	16,990	100	64,410	200	97,680	400	145,370	750	209,800
10	20,140	110	67,740	220	102,470	420	150,160	800	217,900
20	25,050	120	71,060	240	107,220	440	154,910	850	226,020
30	29,970	130	74,370	260	112,000	460	159,670	900	234,150
40	34,900	140	77,700	280	116,750	480	164,430	950	242,280
50	39,800	150	81,040	300	121,530	500	169,220	1,000	250,370
60	44,730	160	84,370	320	126,310	550	177,320	以上50	
70	49,650	170	87,710	340	131,070	600	185,450	kmを増	8,110
80	54,560	180	91,020	360	135,840	650	193,580	すごとに	
90	59,480	190	94,350	380	140,610	700	201,690		

(40ftコンテナ)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円
5	26,130	100	100,440	200	147,660	400	214,380	750	302,580
10	30,990	110	105,170	220	154,330	420	221,020	800	313,540
20	38,710	120	109,870	240	160,990	440	227,690	850	324,520
30	46,440	130	114,600	260	167,650	460	234,360	900	335,490
40	54,150	140	119,310	280	174,330	480	241,060	950	346,450
50	61,870	150	124,040	300	181,000	500	247,730	1,000	357,430
60	69,580	160	128,770	320	187,670	550	258,700	以上50	
70	77,280	170	133,490	340	194,340	600	269,650	kmを増	10,970
80	84,990	180	138,210	360	201,010	650	280,620	すごとに	
90	92,710	190	142,930	380	207,710	700	291,610		

解説書改定版

P2-1-32

表2-1-13 コンテナ1個当たりの陸上輸送費用

(20ftコンテナ)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円
5	17,260	100	65,430	200	99,220	400	147,670	750	213,110
10	20,460	110	68,810	220	104,090	420	152,530	800	221,340
20	25,450	120	72,180	240	108,910	440	157,360	850	229,590
30	30,440	130	75,540	260	113,770	460	162,190	900	237,850
40	35,450	140	78,930	280	118,590	480	167,030	950	246,110
50	40,430	150	82,320	300	123,450	500	171,890	1,000	254,320
60	45,440	160	85,700	320	128,310	550	180,120	以上50	
70	50,430	170	89,100	340	133,140	600	188,380	kmを増	8,240
80	55,420	180	92,460	360	137,990	650	196,640	すごとに	
90	60,420	190	95,840	380	142,830	700	204,880		

(40ftコンテナ)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円	kmまで	円
5	26,540	100	102,030	200	149,990	400	217,770	750	307,360
10	31,480	110	106,830	220	156,770	420	224,510	800	318,490
20	39,320	120	111,610	240	163,530	440	231,290	850	329,650
30	47,170	130	116,410	260	170,300	460	238,060	900	340,790
40	55,010	140	121,190	280	177,080	480	244,870	950	351,920
50	62,850	150	126,000	300	183,860	500	251,640	1,000	363,080
60	70,680	160	130,800	320	190,630	550	262,790	以上50	
70	78,500	170	135,600	340	197,410	600	273,910	kmを増	11,140
80	86,330	180	140,390	360	204,180	650	285,050	すごとに	
90	94,170	190	145,190	380	210,990	700	296,220		

(出典) : 「貨物運賃と各種料金表'10」 (株)交通日本社 平成22年11月)

(注1) : 一般貨物自動車運送事業運賃料金の一例 (国際大型海上コンテナを運送する場合に限る) の距離制運賃率より設定。(消費税抜き)

(注2) : 帰り荷がない場合には、片道距離を2倍にしたキロ程に相当する費用を上記表から抽出する。

(注3) : GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換して設定。

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-1-32

表2-1-14 コンテナ1個当りの高速道路利用費用

$$150.0円 + 67.65円/km \times DL2$$

DL2: 高速道路輸送距離(km)

- (出典) : 「高速道路便覧2007」(全国高速道路建設協議会 平成19年8月)  
 (注1) : 特大車の高速道路料金をもとに設定(消費税抜き)  
 (注2) : 20ftと40ftは同一料金とする。  
 (注3) : 各種割引料金がわかっている場合には、これを考慮してもよい。  
 (注4) : 高速道路の利用に関しては、実入りコンテナの輸送時、あるいは一般道路が非常に混雑している等の場合のみ利用を想定することとし、実際の輸送実態をふ

P2-1-32

表2-1-14 コンテナ1個当りの高速道路利用費用

$$150.0円 + 67.65円/km \times DL2$$

DL2: 高速道路輸送距離(km)

- (出典) : 「高速道路便覧2015」(全国高速道路建設協議会 平成28年7月)  
 (注1) : 特大車の高速道路料金をもとに設定(消費税抜き)  
 (注2) : 20ftと40ftは同一料金とする。  
 (注3) : 各種割引料金がわかっている場合には、これを考慮してもよい。  
 (注4) : 高速道路の利用に関しては、実入りコンテナの輸送時、あるいは一般道路が非常に混雑している等の場合のみ利用を想定することとし、実際の輸送実態をふ

P2-1-33

表2-1-15 コンテナ1個当りの海上輸送費用  
(20ftコンテナ)

船型	海上輸送費用(円/個)
500 TEU	F= 8,170 + 11,170 × d
1,000 TEU	F= 7,530 + 10,190 × d
2,000 TEU	F= 5,720 + 8,150 × d
4,000 TEU	F= 4,080 + 6,310 × d
6,000 TEU	F= 3,330 + 5,460 × d
8,000 TEU	F= 2,870 + 4,950 × d
10,000 TEU	F= 2,570 + 4,600 × d
12,000 TEU	F= 2,370 + 4,360 × d

P2-1-33

表2-1-15 コンテナ1個当りの海上輸送費用  
(20ftコンテナ)

船型	海上輸送費用(円/個)
500 TEU	F= 5,870 + 6,500 × d
1,000 TEU	F= 4,450 + 5,160 × d
2,000 TEU	F= 3,400 + 4,140 × d
4,000 TEU	F= 2,810 + 3,540 × d
6,000 TEU	F= 2,570 + 3,290 × d
8,000 TEU	F= 2,560 + 3,160 × d
10,000 TEU	F= 2,490 + 3,020 × d
12,000 TEU	F= 2,450 + 2,930 × d
14,000 TEU	F= 2,430 + 2,880 × d
16,000 TEU	F= 2,410 + 2,830 × d
18,000 TEU	F= 2,380 + 2,780 × d
20,000 TEU	F= 2,360 + 2,720 × d
22,000 TEU	F= 2,330 + 2,660 × d

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-1-33

表2-1-15 コンテナ1個当りの海上輸送費用  
(40ftコンテナ)

船型	海上輸送費用(円/個)
500 TEU	$F=12,260+16,750 \times d$
1,000 TEU	$F=11,290+15,280 \times d$
2,000 TEU	$F= 8,580+12,220 \times d$
4,000 TEU	$F= 6,120+ 9,460 \times d$
6,000 TEU	$F= 4,990+ 8,190 \times d$
8,000 TEU	$F= 4,310+ 7,420 \times d$
10,000 TEU	$F= 3,860+ 6,900 \times d$
12,000 TEU	$F= 3,550+ 6,530 \times d$

ここで

F：1区間1個当り海上輸送費用[円/個]

d：1区間当り航行日数[日/区間]

(注1) 船型別に、平均的な船費、コンテナ貨物の平均的な消費率等を想定  
停泊日数は当該港、目的港での停泊を各々0.5日、合計1.0日を想定しているが、  
コンテナの積み卸しのための停泊が合計で1.0日以上要する場合には、上記の海  
上輸送費用式の定数項を修正しても良い。(例：合計で2.0日の場合は定数項を  
2倍とする。)

(注2) 消費税抜き。

解説書改定版

P2-1-33

表2-1-15 コンテナ1個当りの海上輸送費用  
(40ftコンテナ)

船型	海上輸送費用(円/個)
500 TEU	$F= 8,800 + 9,750 \times d$
1,000 TEU	$F= 6,680 + 7,740 \times d$
2,000 TEU	$F= 5,110 + 6,200 \times d$
4,000 TEU	$F= 4,210 + 5,310 \times d$
6,000 TEU	$F= 3,850 + 4,930 \times d$
8,000 TEU	$F= 3,830 + 4,730 \times d$
10,000 TEU	$F= 3,740 + 4,530 \times d$
12,000 TEU	$F= 3,670 + 4,400 \times d$
14,000 TEU	$F= 3,650 + 4,320 \times d$
16,000 TEU	$F= 3,610 + 4,250 \times d$
18,000 TEU	$F= 3,570 + 4,180 \times d$
20,000 TEU	$F= 3,540 + 4,080 \times d$
22,000 TEU	$F= 3,500 + 4,000 \times d$

ここで

F：1区間1個当り海上輸送費用[円/個]

d：1区間当り航行日数[日/区間]

(注1) 船型別に、平均的な船費、コンテナ貨物の平均的な消費率等を想定  
停泊日数は当該港、目的港での停泊を各々0.5日、合計1.0日を想定しているが、  
コンテナの積み卸しのための停泊が合計で1.0日以上要する場合には、上記の海  
上輸送費用式の定数項を修正しても良い。(例：合計で2.0日の場合は定数項を  
2倍とする。)

(注2) 消費税抜き。

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-1-33

表2-1-16 アジア主要港での1寄港によるコンテナ1個のトランシップ費用

釜山・高雄	20ft	12,000 円/個
	40ft	18,000 円/個

- (注1) 上記は、各種関連資料、ヒアリング等に基づき計算した試算値をもとに設定した参考値であり、航路mによらず一定としている。最新のヒアリングや資料等に基づきトランシップ費用の設定が出来る場合は、その設定を用いてもよい。
- (注2) トランシップ貨物は、コンテナの卸しと積みの2回の作業が必要であるが、各々の作業においてゲートを通することがないため、トランシップ費用は通例の輸出あるいは輸入の1回当りの取扱いコストの2倍ではなく、1.5倍程度を要するとしている（業者ヒアリングによる）。

P2-1-33

表2-1-16 アジア主要港での1寄港によるコンテナ1個のトランシップ費用

釜山・高雄	20ft	12,000 円/個
	40ft	18,000 円/個

- (注1) 上記は、各種関連資料、ヒアリング等に基づき計算した試算値をもとに設定した参考値であり、航路mによらず一定としている。最新のヒアリングや資料等に基づきトランシップ費用の設定が出来る場合は、その設定を用いてもよい。
- (注2) トランシップ貨物は、コンテナの卸しと積みの2回の作業が必要であるが、各々の作業においてゲートを通することがないため、トランシップ費用は通例の輸出あるいは輸入の1回当りの取扱いコストの2倍ではなく、1.5倍程度を要するとしている（業者ヒアリングによる）。
- (注3) GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換して設定。

P2-1-34

表2-1-17 国際海上コンテナ貨物の時間費用原単位(円/時・個)

		40ft	20ft
基幹航路 (北米西岸、欧州)	輸出	3,300	2,200
	輸入	2,900	1,900
アジア航路 (近海、東南アジア、中国)	輸出	2,300	1,600
	輸入	1,800	1,200

- (出典) 国総研資料 (NO. 589、2010.3)、港湾技研資料 (NO. 987、2001.3) の時間費用原単位をもとに、GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換して設定
- (注1) 北米東岸、地中海、南米、ガルフ航路は、基幹航路の時間費用原単位を準用  
その他の航路は、アジア航路の時間費用原単位を準用

P2-1-34

表2-1-17 国際海上コンテナ貨物の時間費用原単位(円/時・個)

		40ft	20ft
基幹航路 (北米西岸、欧州)	輸出	3,300	2,200
	輸入	2,900	1,900
アジア航路 (近海、東南アジア、中国)	輸出	2,300	1,600
	輸入	1,800	1,200

- (出典) 国総研資料 (NO. 589、2010.3)、港湾技研資料 (NO. 987、2001.3) の時間費用原単位をもとに、GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換して設定
- (注1) 北米東岸、地中海、南米、ガルフ航路は、基幹航路の時間費用原単位を準用  
その他の航路は、アジア航路の時間費用原単位を準用

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-1-38

表2-1-20 時間当り滞船費用(国際海上コンテナ船)

船型	滞船費用(円/時間・隻)
500 TEU	113 千円/時間・隻
1,000 TEU	209 千円/時間・隻
2,000 TEU	318 千円/時間・隻
4,000 TEU	453 千円/時間・隻
6,000 TEU	555 千円/時間・隻
8,000 TEU	638 千円/時間・隻
10,000 TEU	715 千円/時間・隻
12,000 TEU	789 千円/時間・隻

(注) 船型別に、平均的な船費等を想定(消費税抜き)

解説書改定版

P2-1-38

表2-1-20 時間当り滞船費用(国際海上コンテナ船)

船型	滞船費用(円/時間・隻)
500 TEU	71 千円/時間・隻
1,000 TEU	108 千円/時間・隻
2,000 TEU	165 千円/時間・隻
4,000 TEU	273 千円/時間・隻
6,000 TEU	375 千円/時間・隻
8,000 TEU	497 千円/時間・隻
10,000 TEU	606 千円/時間・隻
12,000 TEU	714 千円/時間・隻
14,000 TEU	827 千円/時間・隻
16,000 TEU	936 千円/時間・隻
18,000 TEU	1,042 千円/時間・隻
20,000 TEU	1,147 千円/時間・隻
22,000 TEU	1,248 千円/時間・隻

(注) 船型別に、平均的な船費等を想定(消費税抜き)

第1章 国際海上コンテナターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-1-47

表2-1-22 CO<sub>2</sub>、NOX排出原単位

速度	CO <sub>2</sub> 排出原単位	NOX排出原単位
5 km/時	911.51 g-C/台・km	16.10 g/台・km
10 km/時	635.93 g-C/台・km	11.33 g/台・km
15 km/時	538.85 g-C/台・km	9.48 g/台・km
25 km/時	453.42 g-C/台・km	7.55 g/台・km
40 km/時	396.98 g-C/台・km	5.85 g/台・km
60 km/時	362.25 g-C/台・km	4.33 g/台・km
70 km/時	353.68 g-C/台・km	3.75 g/台・km

- (注1) コンテナシャーシについては、運行実態等をもとに設定  
 (注2) 走行速度が明確でない場合は便宜的に一般道路輸送時の排出量原単位は速度40km/時の欄を用い、高速道路輸送時の排出量原単位は速度70km/時の欄を用いてよい。

解説書改定版

P2-1-47

表2-1-22 CO<sub>2</sub>、NOX排出原単位

速度	CO <sub>2</sub> 排出原単位	NOX排出原単位
5 km/時	861.20 g-C/台・km	8.22 g/台・km
10 km/時	639.13 g-C/台・km	6.25 g/台・km
15 km/時	551.71 g-C/台・km	5.45 g/台・km
25 km/時	461.37 g-C/台・km	4.54 g/台・km
40 km/時	387.39 g-C/台・km	3.61 g/台・km
60 km/時	333.69 g-C/台・km	2.58 g/台・km
70 km/時	319.69 g-C/台・km	2.10 g/台・km

- (注1) コンテナシャーシについては、「自動車排出ガス原単位及び総量算定検討調査報告書」(環境省、平成28年3月)の排出原単位と運行実態等をもとに設定  
 (注2) 走行速度が明確でない場合は便宜的に一般道路輸送時の排出量原単位は速度40km/時の欄を用い、高速道路輸送時の排出量原単位は速度70km/時の欄を用いてよい。

第2章 複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-2-28

表2-1-9 陸上輸送の走行速度

道路区分	走行速度
一般道路	34.5 km/h
高速道路	73.1 km/h

(出典) 「平成17年度道路交通センサス」 ( (社) 交通工学研究会、平成19年8月)  
 (注) 道路種別別沿道状況別改良未改良別整備未整備別12時間平均交通量表 (全国、平日) の混雑時平均旅行速度の高速道路計、および一般道計より設定

解説書改定版

P2-2-28

表2-1-9 陸上輸送の走行速度

道路区分	走行速度
一般道路	33.3 km/h
高速道路	72.4 km/h

(出典) 「平成22年度道路交通センサス」 ( (社) 交通工学研究会、平成24年12月)  
 (注) 道路種別別沿道状況別改良未改良別整備未整備別12時間平均交通量表 (全国、平日) の混雑時平均旅行速度の高速道路計、および一般道計より設定

P2-2-32

表2-2-16 1台当りの陸上輸送費用

(トラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	15,140	110	36,320	200kmを越え	2,700
20	15,140	120	37,820	500kmまで20km	
30	17,570	130	39,340	を増すごとに	
40	20,060	140	40,900		
50	22,530	150	42,460		6,740
60	24,980	160	44,000	500kmを越え	
70	27,440	170	45,560	50kmを増すごとに	
80	29,920	180	47,110		
90	32,370	190	48,660		
100	34,680	200	50,220		

P2-2-32

表2-2-16 1台当りの陸上輸送費用

(トラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	15,380	110	36,890	200kmを越え	2,740
20	15,380	120	38,420	500kmまで20km	
30	17,850	130	39,960	を増すごとに	
40	20,380	140	41,550		
50	22,890	150	43,130		6,850
60	25,370	160	44,690	500kmを越え	
70	27,870	170	46,280	50kmを増すごとに	
80	30,390	180	47,850		
90	32,880	190	49,430		
100	35,230	200	51,010		



第2章 複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-2-32

表2-2-16 1台当りの陸上輸送費用  
(トレーラー)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	22,010	110	47,620	200kmを越え	4,260
20	22,010	120	49,950	500kmまで20km	
30	24,690	130	52,090	を増すごとに	
40	27,500	140	54,310		
50	30,210	150	56,530	500kmを越え	10,110
60	33,230	160	58,950	50kmを増すごとに	
70	36,200	170	61,370		
80	39,300	180	63,750		
90	42,320	190	65,570		
100	45,400	200	68,750		

(コンテナシャーシ)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	8,310	110	26,450	200kmを越え	1,950
20	10,980	120	27,550	500kmまで20km	
30	12,780	130	28,670	を増すごとに	
40	14,560	140	29,780		
50	16,360	150	30,900	500kmを越え	4,900
60	18,170	160	32,000	50kmを増すごとに	
70	19,950	170	33,120		
80	21,760	180	34,220		
90	23,540	190	35,340		
100	25,340	200	36,440		

- (出典) 「貨物運賃と各種料金表'09」 (株)交通日本社 平成21年11月)
- (注1) トラックは、貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、10トン車の下限値より設定 (消費税抜き)
- (注2) トレーラーは、貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、20トン車の下限値より設定 (消費税抜き)
- (注3) コンテナシャーシは、貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、5トン車の下限値より設定 (消費税抜き)
- (注4) 帰り荷がない場合には、片道距離を2倍したキロ程に相当する費用を上記表から抽出する。

解説書改定版

P2-2-32

表2-2-16 1台当りの陸上輸送費用  
(トレーラー)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	22,360	110	48,370	200kmを越え	4,330
20	22,360	120	50,740	500kmまで20km	
30	25,080	130	52,910	を増すごとに	
40	27,930	140	55,170		
50	30,690	150	57,420	500kmを越え	10,270
60	33,750	160	59,880	50kmを増すごとに	
70	36,770	170	62,340		
80	39,920	180	64,760		
90	42,990	190	66,610		
100	46,120	200	69,840		

(コンテナシャーシ)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	8,440	110	26,870	200kmを越え	1,980
20	11,150	120	27,990	500kmまで20km	
30	12,980	130	29,120	を増すごとに	
40	14,790	140	30,250		
50	16,620	150	31,390	500kmを越え	4,980
60	18,460	160	32,510	50kmを増すごとに	
70	20,270	170	33,640		
80	22,100	180	34,760		
90	23,910	190	35,900		
100	25,740	200	37,020		

- (出典) 「貨物運賃と各種料金表'10」 (株)交通日本社 平成22年11月)
- (注1) トラックは、貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、10トン車の下限値より設定 (消費税抜き)
- (注2) トレーラーは、貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、20トン車の下限値より設定 (消費税抜き)
- (注3) コンテナシャーシは、貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、5トン車の下限値より設定 (消費税抜き)
- (注4) 帰り荷がない場合には、片道距離を2倍したキロ程に相当する費用を上記表から抽出する。
- (注5) GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換して設定。

第2章 複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-2-33

※紙面の都合によりここに掲載

表2-2-17 1台当り高速道路利用費用

(トラック、トレーラー)

$$150.0円 + 67.65円 / km \times DL2$$

(コンテナシャーシ)

$$150.0円 + 40.59円 / km \times DL2$$

DL2: 高速道路輸送距離 (km)

- (出典) 「高速道路便覧2007」 (全国高速道路建設協議会 平成19年8月)  
 (注1) トラック、トレーラーに関しては特大車、コンテナシャーシに関しては大型車 (トレーラー (3軸)) の高速道路料金より設定 (消費税抜き)  
 (注2) 送費用が既知である場合には、実勢料金 (消費税抜き) を用いる。  
 (注3) 各種割引料金がわかっている場合には、これを考慮してもよい。  
 (注4) 高速道路の利用に関しては、実入りコンテナの輸送時、あるいは一般道路が非常に混雑している等の場合のみ利用を想定することとし、実際の輸送実態をふまえて高速道路利用費用を計上する。

解説書改定版

P2-2-33

表2-2-17 1台当り高速道路利用費用

(トラック、トレーラー)

$$150.0円 + 67.65円 / km \times DL2$$

(コンテナシャーシ)

$$150.0円 + 40.59円 / km \times DL2$$

DL2: 高速道路輸送距離 (km)

- (出典) 「高速道路便覧2015」 (全国高速道路建設協議会 平成27年8月)  
 (注1) トラック、トレーラーに関しては特大車、コンテナシャーシに関しては大型車 (トレーラー (3軸)) の高速道路料金より設定 (消費税抜き)  
 (注2) 送費用が既知である場合には、実勢料金 (消費税抜き) を用いる。  
 (注3) 各種割引料金がわかっている場合には、これを考慮してもよい。  
 (注4) 高速道路の利用に関しては、実入りコンテナの輸送時、あるいは一般道路が非常に混雑している等の場合のみ利用を想定することとし、実際の輸送実態をふまえて高速道路利用費用を計上する。

第2章 複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-2-33

表2-2-18 トラック1台、トレーラー1台、コンテナ1個当りの海上輸送費用  
(フェリー) 単位(円/台)

船型	トラック、コンテナシャーシ	トレーラー
1,000 GT	1,300 + 11,350 × T	1,900 + 14,980 × T
5,000 GT	4,200 + 7,310 × T	6,300 + 9,180 × T
10,000 GT	5,300 + 3,880 × T	7,900 + 5,110 × T

- (注1) Tは1航海当りの航行時間(時間)  
 (注2) 「2009年版海上定期便ガイド」より設定(消費税抜き)  
 (注3) トラック、およびコンテナシャーシの車長は両者ともに8.5mを想定しているため、海上輸送費用も同一とした。

(RORO船、コンテナ船)

船型	RORO		コンテナ船
	トラック、コンテナシャーシ	トレーラー	
1,000 DWT	9,200 + 2,570 × T	10,850 + 3,890 × T	18,700 + 640 × T
3,000 DWT	8,290 + 2,350 × T	9,450 + 3,550 × T	18,600 + 580 × T
5,000 DWT	7,870 + 2,120 × T	8,820 + 3,200 × T	18,500 + 490 × T
10,000 DWT	7,420 + 1,840 × T	8,130 + 2,770 × T	18,400 + 390 × T

- (注1) Tは1航海当りの航行時間(時間)  
 (注2) 船型別の平均的な船費等より設定(消費税抜き)  
 RORO船、コンテナ船とも船積港および船卸港での荷役費含む。  
 (注3) 複合一貫輸送ターミナルで取扱うコンテナは12ftコンテナを想定している。

解説書改定版

P2-2-33

表2-2-18 トラック1台、トレーラー1台、コンテナ1個当りの海上輸送費用  
(フェリー) 単位(円/台)

船型	トラック、コンテナシャーシ	トレーラー
1,000 GT	1,400 + 11,500 × T	1,800 + 14,900 × T
5,000 GT	5,300 + 7,200 × T	6,900 + 9,300 × T
10,000 GT	5,600 + 4,100 × T	7,300 + 5,300 × T

- (注1) Tは1航海当りの航行時間(時間)  
 (注2) 「海上定期便ガイド」より設定(消費税抜き)  
 (注3) トラック、およびコンテナシャーシの車長は両者ともに8.5mを想定しているため、海上輸送費用も同一とした。

(RORO船、コンテナ船)

船型	RORO		コンテナ船
	トラック、コンテナシャーシ	トレーラー	
1,000 DWT	9,280 + 2,580 × T	10,970 + 3,910 × T	18,700 + 580 × T
3,000 DWT	8,350 + 2,320 × T	9,540 + 3,500 × T	18,600 + 560 × T
5,000 DWT	7,920 + 2,040 × T	8,890 + 3,070 × T	18,500 + 510 × T
10,000 DWT	7,460 + 1,630 × T	8,190 + 2,450 × T	18,400 + 430 × T

- (注1) Tは1航海当りの航行時間(時間)  
 (注2) 船型別の平均的な船費等より設定(消費税抜き)  
 RORO船、コンテナ船とも船積港および船卸港での荷役費含む。  
 (注3) 複合一貫輸送ターミナルで取扱うコンテナは12ftコンテナを想定している。

第2章 複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-2-34

表2-2-19 ユニットロードの時間費用原単位

品目	RORO船、コンテナ船	フェリー
1.農水産品	122 円/t・時	76 円/t・時
2.林産品	357 円/t・時	48 円/t・時
3.鉱産品	568 円/t・時	76 円/t・時
4.金属機械工業品	204 円/t・時	34 円/t・時
5.化学工業品	459 円/t・時	71 円/t・時
6.軽工業品	83 円/t・時	24 円/t・時
7.雑工業品	614 円/t・時	78 円/t・時
8.特殊品	568 円/t・時	76 円/t・時
9.分類不能なもの	455 円/t・時	67 円/t・時

(注1) 「21世紀初頭の我が国の交通需要—交通需要予測モデル—」(財)運輸政策研究機構 平成12年3月)の推計結果をもとに、GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、フレートトンベースに修正

P2-2-34

表2-2-19 ユニットロードの時間費用原単位

品目	RORO船、コンテナ船	フェリー
1.農水産品	122 円/t・時	76 円/t・時
2.林産品	357 円/t・時	48 円/t・時
3.鉱産品	567 円/t・時	76 円/t・時
4.金属機械工業品	204 円/t・時	34 円/t・時
5.化学工業品	459 円/t・時	71 円/t・時
6.軽工業品	83 円/t・時	24 円/t・時
7.雑工業品	613 円/t・時	78 円/t・時
8.特殊品	567 円/t・時	76 円/t・時
9.分類不能なもの	455 円/t・時	67 円/t・時

(注1) 「21世紀初頭の我が国の交通需要—交通需要予測モデル—」(財)運輸政策研究機構 平成12年3月)の推計結果をもとに、GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、フレートトンベースに修正。

P2-2-37

表2-2-20 時間当り滞船費用 単位(円/時間・隻)

船型	RORO船	コンテナ船
1,000 DWT	40 千円/年・隻	35 千円/年・隻
3,000 DWT	55 千円/年・隻	44 千円/年・隻
5,000 DWT	64 千円/年・隻	50 千円/年・隻
10,000 DWT	86 千円/年・隻	62 千円/年・隻

(注)船型別に、平均的な船費等を想定(消費税抜き)

P2-2-37

表2-2-20 時間当り滞船費用

船型	RORO船	コンテナ船
1,000 DWT	46 千円/時間・隻	30 千円/時間・隻
3,000 DWT	62 千円/時間・隻	40 千円/時間・隻
5,000 DWT	71 千円/時間・隻	49 千円/時間・隻
10,000 DWT	92 千円/時間・隻	67 千円/時間・隻

(注)船型別に、平均的な船費等を想定(消費税抜き)。

第2章 複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-2-42

表2-2-22 CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出原単位

速度 (km/時)	CO <sub>2</sub> 排出原単位 (g-C/台・km)		
	普通貨物	小型貨物	コンテナシャーシ
5	381.08	134.62	911.51
10	260.54	86.37	635.93
15	220.28	69.96	538.85
25	188.13	56.40	453.42
40	170.26	48.57	396.98
60	161.02	44.76	362.25
70	158.78	44.16	353.68

速度 (km/時)	NO <sub>x</sub> 排出原単位 (g/台・km)		
	普通貨物	小型貨物	コンテナシャーシ
5	11.25	1.60	16.10
10	7.61	1.01	11.33
15	6.30	0.80	9.48
25	5.12	0.63	7.55
40	4.31	0.53	5.85
60	3.77	0.47	4.33
70	3.63	0.46	3.75

- (出典) コンテナシャーシ以外の車種については「自動車排出ガス原単位及び総量算定検討調査」(環境省、平成20年3月)の平成17年度データ、コンテナシャーシについては、運行実態等をもとに設定
- (注1) 走行速度が明確でない場合は便宜的に一般道路輸送時の排出量原単位は速度40km/時の欄を用い、高速道路輸送時の排出量原単位は速度70km/時の欄を用いてよい。
- (注2) 小型貨物と普通貨物の区分は全長4.7m未満、4.7m以上等で分けられているが、推計に際して不明の場合は、目安として2トン積みトラック程度までを小型貨物として取扱う。

解説書改定版

P2-2-42

表2-2-22 CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出原単位

速度 (km/時)	CO <sub>2</sub> 排出原単位 (g-C/台・km)		
	普通貨物	小型貨物	コンテナシャーシ
5	326.89	145.50	861.20
10	229.34	91.09	639.13
15	194.89	72.76	551.71
25	164.67	57.96	461.37
40	145.20	49.83	387.39
60	134.51	46.39	333.69
70	132.68	46.12	319.69

速度 (km/時)	NO <sub>x</sub> 排出原単位 (g/台・km)		
	普通貨物	小型貨物	コンテナシャーシ
5	6.98	1.11	8.22
10	4.90	0.79	6.25
15	4.12	0.68	5.45
25	3.37	0.56	4.54
40	2.78	0.47	3.61
60	2.32	0.39	2.58
70	2.16	0.34	2.10

- (出典) コンテナシャーシ以外の車種については「自動車排出ガス原単位及び総量算定検討調査」(環境省、平成27年3月)の平成26年度データ、コンテナシャーシについては、運行実態等をもとに設定
- (注1) 走行速度が明確でない場合は便宜的に一般道路輸送時の排出量原単位は速度40km/時の欄を用い、高速道路輸送時の排出量原単位は速度70km/時の欄を用いてよい。
- (注2) 小型貨物と普通貨物の区分は全長4.7m未満、4.7m以上等で分けられているが、推計に際して不明の場合は、目安として2トン積みトラック程度までを小型貨物として取扱う。

第3章 国際物流ターミナル、国内物流ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-3-28

表2-3-10 トラック1台当りの陸上輸送費用  
(5トントラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	8,310	110	26,450	200kmを越え	1,950
20	10,980	120	27,550	500kmまで20km	
30	12,780	130	28,670	を増すごとに	
40	14,560	140	29,780		4,900
50	16,360	150	30,900	500kmを越え	
60	18,170	160	32,000	50kmを増すごとに	
70	19,950	170	33,120		
80	21,760	180	34,220		
90	23,540	190	35,340		
100	25,340	200	36,440		

(10トントラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	15,140	110	36,320	200kmを越え	2,700
20	15,140	120	37,820	500kmまで20km	
30	17,570	130	39,340	を増すごとに	
40	20,060	140	40,900		6,740
50	22,530	150	42,460	500kmを越え	
60	24,980	160	44,000	50kmを増すごとに	
70	27,440	170	45,560		
80	29,920	180	47,110		
90	32,370	190	48,660		
100	34,680	200	50,220		

解説書改定版

P2-3-28

表2-3-10 トラック1台当りの陸上輸送費用  
(5トントラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	8,440	110	26,870	200kmを越え	1,980
20	11,150	120	27,990	500kmまで20km	
30	12,980	130	29,120	を増すごとに	
40	14,790	140	30,250		4,980
50	16,620	150	31,390	500kmを越え	
60	18,460	160	32,510	50kmを増すごとに	
70	20,270	170	33,640		
80	22,100	180	34,760		
90	23,910	190	35,900		
100	25,740	200	37,020		

(10トントラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	15,380	110	36,890	200kmを越え	2,740
20	15,380	120	38,420	500kmまで20km	
30	17,850	130	39,960	を増すごとに	
40	20,380	140	41,550		6,850
50	22,890	150	43,130	500kmを越え	
60	25,370	160	44,690	50kmを増すごとに	
70	27,870	170	46,280		
80	30,390	180	47,850		
90	32,880	190	49,430		
100	35,230	200	51,010		

第3章 国際物流ターミナル、国内物流ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-3-28

表2-3-10 トラック1台当りの陸上輸送費用  
(20トントラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	22,010	110	47,620	200kmを越え	4,260
20	22,010	120	49,950	500kmまで20km	
30	24,690	130	52,090	を増すごとに	
40	27,500	140	54,310		
50	30,210	150	56,530	500kmを越え	10,110
60	33,230	160	58,950	50kmを増すごとに	
70	36,200	170	61,370		
80	39,300	180	63,750		
90	42,320	190	65,570		
100	45,400	200	68,750		

- (出典) 「貨物運賃と各種料金表'09」 (株)交通日本社 平成21年11月)  
 (注1) 貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、5トン車、10トン車、20トン車の下限値より設定  
 (注2) 帰り荷がない場合には、片道距離を2倍にしたキロ程に相当する費用を上記表から抽出する。

解説書改定版

P2-3-28

表2-3-10 トラック1台当りの陸上輸送費用  
(20トントラック)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	22,360	110	48,370	200kmを越え	4,330
20	22,360	120	50,740	500kmまで20km	
30	25,080	130	52,910	を増すごとに	
40	27,930	140	55,170		
50	30,690	150	57,420	500kmを越え	10,270
60	33,750	160	59,880	50kmを増すごとに	
70	36,770	170	62,340		
80	39,920	180	64,760		
90	42,990	190	66,610		
100	46,120	200	69,840		

- (出典) 「貨物運賃と各種料金表'10」 (株)交通日本社 平成22年11月)  
 (注1) 貸切運賃料金の一例の距離制運賃率表関東運輸局、5トン車、10トン車、20トン車の下限値より設定  
 (注2) 帰り荷がない場合には、片道距離を2倍にしたキロ程に相当する費用を上記表から抽出する。  
 (注3) GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換して設定。

第3章 国際物流ターミナル、国内物流ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-3-34

P2-3-38

表2-3-11 1日当りの海上輸送費用原単位

表2-3-12 時間当たり滞船費用

船型	海上輸送費用原単位	滞船費用
1,000 DWT	641 千円/日・隻	22 千円/時間・隻
3,000 DWT	1,036 千円/日・隻	34 千円/時間・隻
5,000 DWT	1,236 千円/日・隻	40 千円/時間・隻
10,000 DWT	1,629 千円/日・隻	50 千円/時間・隻
30,000 DWT	2,565 千円/日・隻	73 千円/時間・隻
50,000 DWT	3,168 千円/日・隻	85 千円/時間・隻
70,000 DWT	3,721 千円/日・隻	98 千円/時間・隻
90,000 DWT	4,115 千円/日・隻	105 千円/時間・隻
120,000 DWT	4,735 千円/日・隻	118 千円/時間・隻
150,000 DWT	5,281 千円/日・隻	129 千円/時間・隻

(注) 船型別に、平均的な船費等を想定(消費税抜き)

解説書改定版

P2-3-34

P2-3-38

表2-3-11 1日当りの海上輸送費用原単位

表2-3-12 時間当たり滞船費用

船型	海上輸送費用原単位	滞船費用
1,000 DWT	732 千円/日・隻	21 千円/時間・隻
3,000 DWT	1,157 千円/日・隻	33 千円/時間・隻
5,000 DWT	1,415 千円/日・隻	39 千円/時間・隻
10,000 DWT	1,821 千円/日・隻	49 千円/時間・隻
30,000 DWT	2,796 千円/日・隻	71 千円/時間・隻
50,000 DWT	3,429 千円/日・隻	85 千円/時間・隻
70,000 DWT	3,986 千円/日・隻	98 千円/時間・隻
90,000 DWT	4,383 千円/日・隻	106 千円/時間・隻
120,000 DWT	4,958 千円/日・隻	119 千円/時間・隻
150,000 DWT	5,459 千円/日・隻	130 千円/時間・隻
200,000 DWT	6,174 千円/日・隻	146 千円/時間・隻
250,000 DWT	6,782 千円/日・隻	159 千円/時間・隻
300,000 DWT	7,357 千円/日・隻	171 千円/時間・隻
350,000 DWT	7,868 千円/日・隻	182 千円/時間・隻
400,000 DWT	8,068 千円/日・隻	191 千円/時間・隻

(注) 船型別に、平均的な船費等を想定(消費税抜き)

P2-3-45

表2-3-14 CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出原単位

P2-2-42 と同じため記載省略

P2-3-45

表2-3-14 CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出原単位

P2-2-42 と同じため記載省略



第4章 旅客対応ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-4-34

(参考) (移動費用・移動時間の設定方法の例)

	観光クルーズ船	チャータークルーズ船
移動時間	・貸切バスでの旅行時間は、 高速道路走行73.1km/h、 一般道走行34.5km で算出する。	・旅行時間は、 高速道路走行 73.1km/h、 一般道走行 34.5km で算出する。

(注)速度は平成17年度道路交通センサス、平日全国平均値

P2-4-34

(参考) (移動費用・移動時間の設定方法の例)

	観光クルーズ船	チャータークルーズ船
移動時間	・貸切バスでの旅行時間は、 高速道路走行 <b>72.4</b> km/h、 一般道走行 <b>33.3</b> km/h で算出する。	・旅行時間は、 高速道路走行 <b>72.4</b> km/h、 一般道走行 <b>33.3</b> km/h で算出する。

(注)速度は平成**22**年度道路交通センサス、平日全国平均値

P2-4-34

(時間費用原単位の設定方法の例)

所得接近法(労働者の収入を労働時間で除した値で算出する方法)により、36.4円/分とする。

(出典)「毎月勤労統計調査 平成20年度分結果確報」(厚生労働省 平成21年5月)より、GDPデフレーターを用い平成21年度値に変換

P2-4-34

(時間費用原単位の設定方法の例)

所得接近法(労働者の収入を労働時間で除した値で算出する方法)により、**36.8**円/分とする。

(出典)「毎月勤労統計調査 平成**26**年度平均統計表」(厚生労働省 平成**27**年5月)より、GDPデフレーターを用い平成**27**年度値に変換。

第4章 旅客対応ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-4-36

P2-4-36

(参考) (一時上陸者(日本国内に居住していない外国人乗船者に限る)  
の1人あたり観光消費額原単位)

20,000 円

出典)「訪日外国人消費動向調査」(観光庁)より設定。

(注1) 訪日外国人1人1泊当たり費用別旅行支出(観光・レジャー目的のみ)の  
「全国籍・地域」から、宿泊費用を除き1日あたり消費額を算出。

第4章 旅客対応ターミナル整備プロジェクト

現行解説書

P2-4-46

表2-4-13 フェリー利用車両の代替ルート利用の走行費用原単位  
一般道路(平地) (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類		小型貨物 車	普通貨物 車	
	乗用車	バス			
5	34	89	35	27	65
10	24	74	25	23	55
15	21	68	22	22	50
20	19	64	20	21	46
25	18	62	18	20	42
30	17	60	18	19	40
35	16	58	17	18	37
40	16	58	17	18	36
45	16	57	16	18	34
50	15	56	16	18	33
55	15	56	16	17	33
60	15	56	16	17	33

高規格・地域高規格道路 (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類		小型貨物 車	普通貨物 車	
	乗用車	バス			
30	10	40	11	14	34
35	10	39	10	14	32
40	9	38	10	13	30
45	9	37	10	13	29
50	9	36	9	13	28
55	9	36	9	13	27
60	9	36	9	13	27
65	9	36	9	13	27
70	9	36	9	13	27
75	9	36	9	13	27
80	9	37	9	13	28
85	9	38	10	13	30
90	9	39	10	14	31

(出典) 「費用便益分析マニュアル」(平成20年11月、国土交通省 道路局 都市・地域整備局)の20年度価格からGDPデフレーターによりH21年度価格に変換。

(注1) 設定速度間の原単位は直線補完により設定する。

(注2) 90km/h、60km/hを超える速度については、90km/h、60km/hの値を用いる。

解説書改定版

P2-4-46

表2-4-13 フェリー利用車両の代替ルート利用の走行費用原単位  
一般道路(平地) (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類			小型貨物 車	普通貨物 車
	乗用車	バス			
5	36	35	89	27	65
10	25	24	74	24	55
15	22	21	68	22	50
20	20	19	65	21	46
25	18	18	62	20	42
30	18	17	60	19	40
35	17	16	59	19	37
40	17	16	58	18	36
45	16	16	57	18	35
50	16	16	57	18	34
55	16	15	56	18	33
60	16	15	56	17	33

高規格・地域高規格道路 (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類			小型貨物 車	普通貨物 車
	乗用車	バス			
30	11	10	40	14	34
35	10	10	39	14	32
40	10	10	38	13	31
45	10	9	37	13	29
50	9	9	36	13	28
55	9	9	36	13	27
60	9	9	36	13	27
65	9	9	36	13	27
70	9	9	36	13	27
75	9	9	36	13	28
80	10	9	37	13	28
85	10	9	38	13	30
90	10	10	39	14	31

(出典) 「費用便益分析マニュアル」(平成20年11月、国土交通省 道路局 都市・地域整備局)の20年度価格からGDPデフレーターによりH27年度価格に変換。

(注1) 設定速度間の原単位は直線補完により設定する。

(注2) 90km/h、60km/hを超える速度については、90km/h、60km/hの値を用いる。

第5章 離島ターミナル整備プロジェクト	
現行解説書	解説書改定版
該当なし	

第6章 防波堤整備プロジェクト																							
現行解説書	解説書改定版																						
<p>P2-6-22</p> <p>表2-6-7 上屋所管面積1㎡あたりの保管資産額(例)</p> <table border="1"> <tr> <td>219 千円/㎡</td> </tr> </table> <p>(注) 平成16～20年の年間平均保管残高および倉庫所管面積より算定 出典；日本倉庫協会；普通倉庫21社統計速報 なお、倉庫が2階建て以上である場合、階層毎に浸水深を設定する。 (GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)</p>	219 千円/㎡	<p>P2-6-22</p> <p>表2-6-7 上屋所管面積1㎡あたりの保管資産額(例)</p> <table border="1"> <tr> <td>284 千円/㎡</td> </tr> </table> <p>(注) 平成22～26年の年間平均保管残高および倉庫所管面積より算定 出典；日本倉庫協会；普通倉庫21社統計速報 なお、倉庫が2階建て以上である場合、階層毎に浸水深を設定する。 (GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)</p>	284 千円/㎡																				
219 千円/㎡																							
284 千円/㎡																							
<p>P2-6-22</p> <p>表2-6-8 コンテナ1個あたりの平均価格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コンテナ種別</th> <th colspan="2">外貿コンテナ</th> </tr> <tr> <th>輸出</th> <th>輸入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20フィートコンテナ</td> <td>6,100 千円</td> <td>3,500 千円</td> </tr> <tr> <td>40フィートコンテナ</td> <td>9,000 千円</td> <td>5,200 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(補足) 平成20年全国輸出入コンテナ貨物流動調査に基づく通関価格に平均的 重量を乗じて求めた。通関価格：輸出 34.1万円/トン、輸入 19.8万円/トン (GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)</p>	コンテナ種別	外貿コンテナ		輸出	輸入	20フィートコンテナ	6,100 千円	3,500 千円	40フィートコンテナ	9,000 千円	5,200 千円	<p>P2-6-22</p> <p>表2-6-8 コンテナ1個あたりの平均価格</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">コンテナ種別</th> <th colspan="2">外貿コンテナ</th> </tr> <tr> <th>輸出</th> <th>輸入</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>20フィートコンテナ</td> <td>6,300 千円</td> <td>3,700 千円</td> </tr> <tr> <td>40フィートコンテナ</td> <td>9,500 千円</td> <td>5,500 千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(補足) 平成25年全国輸出入コンテナ貨物流動調査に基づく通関価格に平均的 重量を乗じて求めた。通関価格：輸出 33.6万円/トン、輸入 19.6万円/トン (GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)</p>	コンテナ種別	外貿コンテナ		輸出	輸入	20フィートコンテナ	6,300 千円	3,700 千円	40フィートコンテナ	9,500 千円	5,500 千円
コンテナ種別		外貿コンテナ																					
	輸出	輸入																					
20フィートコンテナ	6,100 千円	3,500 千円																					
40フィートコンテナ	9,000 千円	5,200 千円																					
コンテナ種別	外貿コンテナ																						
	輸出	輸入																					
20フィートコンテナ	6,300 千円	3,700 千円																					
40フィートコンテナ	9,500 千円	5,500 千円																					

第7章 航路、泊地整備プロジェクト	
現行解説書	解説書改定版
該当なし	

第8章 臨港道路、臨港鉄道整備プロジェクト

現行解説書

P2-8-22

表2-8-8 道路の走行費用原単位

a) 一般道路(市街地) (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類			小型貨物 車	普通貨物車	
	乗用車	バス			コンテナ トレーラ	
5	45	43	112	33	76	134
10	32	31	94	28	62	99
15	28	27	87	26	56	86
20	26	25	83	25	51	79
25	25	24	80	24	47	74
30	24	23	78	23	44	71
35	23	22	77	23	42	68
40	23	22	76	22	41	68
45	22	22	75	22	39	68
50	22	21	75	22	39	68
55	22	21	75	22	38	69
60	22	22	75	22	38	71

b) 一般道路(平地) (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類			小型貨物 車	普通貨物車	
	乗用車	バス			コンテナ トレーラ	
5	35	34	89	27	65	110
10	25	24	74	23	55	87
15	22	21	68	22	50	77
20	20	19	64	21	46	71
25	18	18	62	20	42	67
30	18	17	60	19	40	64
35	17	16	58	18	37	61
40	17	16	58	18	36	60
45	16	16	57	18	34	59
50	16	15	56	18	33	59
55	16	15	56	17	33	59
60	16	15	56	17	33	60

解説書改定版

P2-8-22

表2-8-8 道路の走行費用原単位

a) 一般道路(市街地) (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類			小型貨物 車	普通貨物車	
	乗用車	バス			コンテナ トレーラ	
5	45	44	112	33	76	134
10	33	32	95	28	63	99
15	28	27	88	26	56	87
20	26	25	84	25	51	80
25	25	24	81	24	48	75
30	24	23	79	23	45	71
35	23	22	77	23	42	69
40	23	22	76	22	41	68
45	23	22	76	22	40	68
50	22	22	75	22	39	69
55	22	22	75	22	38	69
60	23	22	75	22	38	71

b) 一般道路(平地) (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類			小型貨物 車	普通貨物車	
	乗用車	バス			コンテナ トレーラ	
5	36	35	89	27	65	111
10	25	24	74	24	55	87
15	22	21	68	22	50	78
20	20	19	65	21	46	72
25	18	18	62	20	42	67
30	18	17	60	19	40	64
35	17	16	59	19	37	61
40	17	16	58	18	36	60
45	16	16	57	18	35	60
50	16	16	57	18	34	59
55	16	15	56	18	33	59
60	16	15	56	17	33	60

第8章 臨港道路、臨港鉄道整備プロジェクト

現行解説書

P2-8-23

c) 高規格・地域高規格道路 (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類		小型貨物 車	普通貨物車		
	乗用車	バス			コンテナ トレーラ	
30	11	10	40	14	34	44
35	10	10	39	14	32	42
40	10	9	38	13	30	40
45	10	9	37	13	29	39
50	9	9	36	13	28	38
55	9	9	36	13	27	37
60	9	9	36	13	27	37
65	9	9	36	13	27	37
70	9	9	36	13	27	38
75	9	9	36	13	27	38
80	9	9	37	13	28	39
85	10	9	38	13	30	41
90	10	9	39	14	31	43

(出典) コンテナトレーラ以外の車種については「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局都市・地域整備局編、平成20年11月)のH20年度価格からデフレータによりH21年度価格に変換。

コンテナトレーラについては、同マニュアルの普通貨物車の走行費用原単位を、業界団体からヒアリングしたコンテナトレーラの燃費値に基づき補正して算定。

(注1) コンテナトレーラの値は20ftコンテナと40ftコンテナの平均値である。

(注2) 消費税抜き。

解説書改定版

P2-8-23

c) 高規格・地域高規格道路 (単位:円/台・km)

速度 (km/h)	乗用車類		小型貨物 車	普通貨物車		
	乗用車	バス			コンテナ トレーラ	
30	11	10	40	14	34	44
35	10	10	39	14	32	42
40	10	10	38	13	31	40
45	10	9	37	13	29	39
50	9	9	36	13	28	38
55	9	9	36	13	27	37
60	9	9	36	13	27	38
65	9	9	36	13	27	37
70	9	9	36	13	27	38
75	9	9	36	13	28	39
80	10	9	37	13	28	39
85	10	9	38	13	30	41
90	10	10	39	14	31	43

(出典) コンテナトレーラ以外の車種については「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局都市・地域整備局編、平成20年11月)のH20年度価格からデフレータによりH27年度価格に変換。

コンテナトレーラについては、同マニュアルの普通貨物車の走行費用原単位を、業界団体からヒアリングしたコンテナトレーラの燃費値に基づき補正して算定。

(注1) コンテナトレーラの値は20ftコンテナと40ftコンテナの平均値である。

(注2) 消費税抜き。

第8章 臨港道路、臨港鉄道整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-8-25

表2-8-9 臨港道路の走行時間費用原単位

車種	時間費用原単位
乗用車類	44 円/台・分
乗用車	39 円/台・分
バス	367 円/台・分
小型貨物車	47 円/台・分
普通貨物車	62 円/台・分

(出典) 「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局都市・地域整備局編、平成20年11月)のH20年度価格からGDPデフレーターによりH21年度価格に変換

P2-8-25

表2-8-9 臨港道路の走行時間費用原単位

車種	時間費用原単位
乗用車類	45 円/台・分
乗用車	39 円/台・分
バス	368 円/台・分
小型貨物車	47 円/台・分
普通貨物車	63 円/台・分

(出典) 「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局都市・地域整備局編、平成20年11月)のH20年度価格からGDPデフレーターによりH27年度価格に変換

P2-8-25

表2-8-10 普通貨物車の走行時間費用原単位

品目	RORO船、コンテナ船	フェリー
1.農水産品	73 円/t・時	109 円/t・時
2.林産品	93 円/t・時	92 円/t・時
3.鉱産品	110 円/t・時	109 円/t・時
4.金属機械工業品	80 円/t・時	84 円/t・時
5.化学工業品	101 円/t・時	106 円/t・時
6.軽工業品	70 円/t・時	78 円/t・時
7.雑工業品	114 円/t・時	110 円/t・時
8.特殊品	110 円/t・時	109 円/t・時
9.分類不能なもの	101 円/t・時	104 円/t・時

(注) 表2-2-19の時間費用原単位(円/フレートトン・時)から表2-2-14に示すトラック1台あたりの積載量を乗じ、貨物の実入り率も考慮して(円/分・台)に換算し、この値に、表2-8-9の普通貨物車の「ドライバー」と「車両」の時間費用原単位を加えて算出した。GDPデフレーターによりH21年度価格に変換。

P2-8-25

表2-8-10 普通貨物車の走行時間費用原単位

品目	RORO船、コンテナ船	フェリー
1.農水産品	73 円/t・時	109 円/t・時
2.林産品	93 円/t・時	92 円/t・時
3.鉱産品	110 円/t・時	109 円/t・時
4.金属機械工業品	80 円/t・時	84 円/t・時
5.化学工業品	101 円/t・時	106 円/t・時
6.軽工業品	70 円/t・時	78 円/t・時
7.雑工業品	114 円/t・時	110 円/t・時
8.特殊品	110 円/t・時	109 円/t・時
9.分類不能なもの	101 円/t・時	104 円/t・時

(注) 表2-2-19の時間費用原単位(円/フレートトン・時)から表2-2-14に示すトラック1台あたりの積載量を乗じ、貨物の実入り率も考慮して(円/分・台)に換算し、この値に、表2-8-9の普通貨物車の「ドライバー」と「車両」の時間費用原単位を加えて算出した。GDPデフレーターによりH27年度価格に変換。

第8章 臨港道路、臨港鉄道整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-8-26

表2-8-11 コンテナトレーラーの走行時間費用原単位

航路		20ft	40ft
基幹航路	輸出	91	81
	輸入	87	79
アジア航路	輸出	82	76
	輸入	78	73

(注) 表2-1-17の時間費用原単位(円/時・個)からコンテナの実入り率を考慮して(円/分・台)に換算し、この値に、表2-8-9の普通貨物車の「ドライバー」と「車両」の時間費用原単位を加えて算出した。GDPデフレーターによりH21年度価格に変換。

P2-8-26

表2-8-11 コンテナトレーラーの走行時間費用原単位

航路		20ft	40ft
基幹航路	輸出	91	81
	輸入	87	79
アジア航路	輸出	82	76
	輸入	78	73

(注) 表2-1-17の時間費用原単位(円/時・個)からコンテナの実入り率を考慮して(円/分・台)に換算し、この値に、表2-8-9の普通貨物車の「ドライバー」と「車両」の時間費用原単位を加えて算出した。GDPデフレーターによりH27年度価格に変換。

P2-8-31

表2-8-13 臨港道路における管理運営費

臨港道路種別	kmあたり維持修繕費
広域幹線道路	14.3 百万円/km・年
基幹臨港道路	3.1 百万円/km・年
埠頭内幹線道路	1.4 百万円/km・年

(注) H10年に実施した港湾管理者アンケート結果を建設工事費デフレーターによりH21年度価格に補正。

表2-8-14 一般道路における管理運営費

臨港道路種別	kmあたり維持修繕費
一般国道	11.5 百万円/km・年
主要地方道	3.4 百万円/km・年
一般都道府県道	2.5 百万円/km・年
市町村道	0.5 百万円/km・年
一般道平均	1.2 百万円/km・年

(注) 道路統計年報2009から算定

P2-8-31

表2-8-13 臨港道路における管理運営費

臨港道路種別	kmあたり維持修繕費
広域幹線道路	15.1 百万円/km・年
基幹臨港道路	3.3 百万円/km・年
埠頭内幹線道路	1.5 百万円/km・年

(注) H10年に実施した港湾管理者アンケート結果を建設工事費デフレーターによりH27年度価格に補正。

表2-8-14 一般道路における管理運営費

臨港道路種別	kmあたり維持修繕費
一般国道	13.0 百万円/km・年
主要地方道	5.1 百万円/km・年
一般都道府県道	3.5 百万円/km・年
市町村道	0.6 百万円/km・年
一般道平均	1.6 百万円/km・年

(注) 道路統計年報2015から算定。



第8章 臨港道路、臨港鉄道整備プロジェクト

現行解説書

P2-8-28

表2-8-12 交通事故の社会的損失額算定式

道路・沿道区分			交通事故損失算定式	
一般道路	DID	2車線	$AAik=2,110 \times X1ik+520 \times X2ik$	
		4車線以上	中央帯無	$AAik=1,960 \times X1ik+520 \times X2ik$
			中央帯有	$AAik=1,670 \times X1ik+520 \times X2ik$
	その他 市街地	2車線	$AAik=1,640 \times X1ik+540 \times X2ik$	
		4車線以上	中央帯無	$AAik=1,550 \times X1ik+490 \times X2ik$
			中央帯有	$AAik=1,120 \times X1ik+490 \times X2ik$
非市街地部	2車線	$AAik=1,310 \times X1ik+650 \times X2ik$		
	4車線以上	中央帯無	$AAik=1,080 \times X1ik+560 \times X2ik$	
		中央帯有	$AAik=930 \times X1ik+560 \times X2ik$	
高速道路			$AAik=350 \times X1ik$	

(中央帯の有無を考慮しない場合)

道路・沿道区分			交通事故損失算定式
一般道路	DID		$AAik=1,730 \times X1ik+520 \times X2ik$
	その他市街地	4車線以上	$AAik=1,240 \times X1ik+490 \times X2ik$
	非市街地部		$AAik=1,010 \times X1ik+560 \times X2ik$

ここで

- AAik：整備i時の区間kにおける交通事故の社会的損失額（円／年）
- X1ik=Qik×Lk：整備i時の区間kにおける走行台キロ（台・km／日）
- X2ik=Qik×Zk：整備i時の区間kにおける交差点走行台箇所（台・箇所／日）
- Qik：整備i時の場合の区間kにおける交通量（台／日）
- Lk：区間kの延長（km）
- Zk：区間kの主要交差点数（箇所）
- i：with時はw、without時はo
- k：区間

(出典) 「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局 都市・地域整備局編、平成20年11月)より、GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換

解説書改定版

P2-8-28

表2-8-12 交通事故の社会的損失額算定式

道路・沿道区分			交通事故損失算定式	
一般道路	DID	2車線	$AAik=2,120 \times X1ik+520 \times X2ik$	
		4車線以上	中央帯無	$AAik=1,970 \times X1ik+520 \times X2ik$
			中央帯有	$AAik=1,680 \times X1ik+520 \times X2ik$
	その他 市街地	2車線	$AAik=1,650 \times X1ik+540 \times X2ik$	
		4車線以上	中央帯無	$AAik=1,560 \times X1ik+490 \times X2ik$
			中央帯有	$AAik=1,120 \times X1ik+490 \times X2ik$
非市街地部	2車線	$AAik=1,310 \times X1ik+650 \times X2ik$		
	4車線以上	中央帯無	$AAik=1,080 \times X1ik+560 \times X2ik$	
		中央帯有	$AAik=940 \times X1ik+560 \times X2ik$	
高速道路			$AAik=350 \times X1ik$	

(中央帯の有無を考慮しない場合)

道路・沿道区分			交通事故損失算定式
一般道路	DID		$AAik=1,730 \times X1ik+520 \times X2ik$
	その他市街地	4車線以上	$AAik=1,240 \times X1ik+490 \times X2ik$
	非市街地部		$AAik=1,020 \times X1ik+560 \times X2ik$

ここで

- AAik：整備i時の区間kにおける交通事故の社会的損失額（円／年）
- X1ik=Qik×Lk：整備i時の区間kにおける走行台キロ（台・km／日）
- X2ik=Qik×Zk：整備i時の区間kにおける交差点走行台箇所（台・箇所／日）
- Qik：整備i時の場合の区間kにおける交通量（台／日）
- Lk：区間kの延長（km）
- Zk：区間kの主要交差点数（箇所）
- i：with時はw、without時はo
- k：区間

(出典) 「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局 都市・地域整備局編、平成20年11月)より、GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換

第8章 臨港道路、臨港鉄道整備プロジェクト

現行解説書

P2-8-34

表2-8-16 CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出原単位

速度 (km/h)	CO <sub>2</sub> 排出原単位 (g-C/台・km)					
	乗用車類		小型貨物車	普通貨物車		コンテナトレーラ
	乗用車	バス				
5	151.75	148.58	334.94	134.62	381.08	911.51
10	97.40	95.13	228.98	86.37	260.54	635.93
15	78.06	76.06	193.64	69.96	220.28	538.85
25	60.85	59.05	165.36	56.40	188.13	453.42
40	49.78	48.06	149.54	48.57	170.26	396.98
60	44.19	42.52	141.06	44.76	161.02	362.25
70	43.67	42.03	138.82	44.16	158.78	353.68

速度 (km/h)	NO <sub>x</sub> 排出原単位 (g/台・km)					
	乗用車類		小型貨物車	普通貨物車		コンテナトレーラ
	乗用車	バス				
5	0.47	0.30	10.15	1.60	11.25	16.10
10	0.29	0.18	6.86	1.01	7.61	11.33
15	0.23	0.13	5.67	0.80	6.30	9.48
25	0.18	0.10	4.60	0.63	5.12	7.55
40	0.15	0.09	3.85	0.53	4.31	5.85
60	0.14	0.09	3.37	0.47	3.77	4.33
70	0.15	0.09	3.25	0.46	3.63	3.75

(出典) コンテナトレーラ以外の車種については「自動車排出ガス原単位及び総量算定検討調査」(環境省、平成20年3月)の平成17年データ、コンテナトレーラについては、運行実態等により想定。乗用車類の値は、「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局 都市・地域整備局編、平成20年11月)で用いている、乗用車とバスの走行台キロ比(0.983:0.017)から算定

(注1) 70km/時を超える速度については、70km/時の値を用いる。

解説書改定版

P2-8-34

表2-8-16 CO<sub>2</sub>、NO<sub>x</sub>排出原単位

速度 (km/h)	CO <sub>2</sub> 排出原単位 (g-C/台・km)					
	乗用車類		小型貨物車	普通貨物車		コンテナトレーラ
	乗用車	バス				
5	129.99	126.27	344.95	145.50	326.89	861.20
10	80.03	77.24	241.50	91.09	229.34	639.13
15	62.60	60.14	205.20	72.76	194.89	551.71
25	47.70	45.52	173.56	57.96	164.67	461.37
40	38.80	36.82	153.22	49.83	145.20	387.39
60	35.01	33.16	141.60	46.39	134.51	333.69
70	35.02	33.22	139.23	46.12	132.68	319.69

速度 (km/h)	NO <sub>x</sub> 排出原単位 (g/台・km)					
	乗用車類		小型貨物車	普通貨物車		コンテナトレーラ
	乗用車	バス				
5	0.22	0.09	7.72	1.11	6.98	8.22
10	0.14	0.05	5.36	0.79	4.90	6.25
15	0.12	0.04	4.49	0.68	4.12	5.45
25	0.09	0.03	3.66	0.56	3.37	4.54
40	0.08	0.03	3.03	0.47	2.78	3.61
60	0.07	0.03	2.54	0.39	2.32	2.58
70	0.07	0.03	2.38	0.34	2.16	2.10

(出典) コンテナトレーラ以外の車種については「自動車排出ガス原単位及び総量算定検討調査」(環境省、平成27年3月)の平成26年データ、コンテナトレーラについては、運行実態等により想定。乗用車類の値は、「費用便益分析マニュアル」(国土交通省道路局 都市・地域整備局編、平成20年11月)で用いている、乗用車とバスの走行台キロ比(0.983:0.017)から算定

(注1) 70km/時を超える速度については、70km/時の値を用いる。

現行解説書	解説書改定版
第9章 港湾緑地整備プロジェクト	
第10章 廃棄物海面処分場整備プロジェクト	
第11章 マリーナ、ボートパーク整備プロジェクト	
第12章 水質・底質の改善プロジェクト	
該当なし	

第13章 耐震強化施設整備プロジェクト																	
現行解説書	解説書改定版																
P2-13-28 表2-13-16 without時におけるヘリコプターの輸送コストの例 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>費用 (貸切運賃+空輸料金、円/時)</th> <th>運搬 可能量</th> <th>巡航速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AS 332</td> <td>2,637,300 円</td> <td>3トン/台</td> <td>260km/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 国土交通省届出料金、消費税抜き  ※建設重機等重量物についても、分解した上で運搬する、もしくは吊り下げた形での運搬が可能である。  ※3トンの貨物を1時間以内に運搬できると考え、運搬1回あたりで上記料金(1時間当り)がかかるとする。</p>	機種	費用 (貸切運賃+空輸料金、円/時)	運搬 可能量	巡航速度	AS 332	2,637,300 円	3トン/台	260km/h	P2-13-28 表2-13-16 without時におけるヘリコプターの輸送コストの例 <table border="1"> <thead> <tr> <th>機種</th> <th>費用 (貸切運賃+空輸料金、円/回)</th> <th>運搬 可能量</th> <th>巡航速度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AS 332</td> <td>2,640,500 円</td> <td>3トン/台</td> <td>220km/h</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) 国土交通省届出料金、消費税抜き。  ※建設重機等重量物についても、分解した上で運搬する、もしくは吊り下げた形での運搬が可能である。  ※3トンの貨物を1時間以内に運搬できると考え、運搬1回あたりで上記料金(1時間当り)がかかるとする。</p>	機種	費用 (貸切運賃+空輸料金、円/回)	運搬 可能量	巡航速度	AS 332	2,640,500 円	3トン/台	220km/h
機種	費用 (貸切運賃+空輸料金、円/時)	運搬 可能量	巡航速度														
AS 332	2,637,300 円	3トン/台	260km/h														
機種	費用 (貸切運賃+空輸料金、円/回)	運搬 可能量	巡航速度														
AS 332	2,640,500 円	3トン/台	220km/h														
P2-13-28 ・時間費用原単位の設定例 <table> <tr> <td>農水産品(食品等)</td> <td>122 円/フレートトン・時</td> </tr> <tr> <td>雑工業品(衣料等)</td> <td>614 円/フレートトン・時</td> </tr> </table> <p>(「複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト」(第2部第2章)参照)</p>	農水産品(食品等)	122 円/フレートトン・時	雑工業品(衣料等)	614 円/フレートトン・時	P2-13-28 ・時間費用原単位の設定例 <table> <tr> <td>農水産品(食品等)</td> <td>122 円/フレートトン・時</td> </tr> <tr> <td>雑工業品(衣料等)</td> <td>613 円/フレートトン・時</td> </tr> </table> <p>(「複合一貫輸送ターミナル整備プロジェクト」(第2部第2章)参照)</p>	農水産品(食品等)	122 円/フレートトン・時	雑工業品(衣料等)	613 円/フレートトン・時								
農水産品(食品等)	122 円/フレートトン・時																
雑工業品(衣料等)	614 円/フレートトン・時																
農水産品(食品等)	122 円/フレートトン・時																
雑工業品(衣料等)	613 円/フレートトン・時																

第13章 耐震強化施設整備プロジェクト

現行解説書

P2-13-29

表2-13-19 陸上輸送の走行速度(緊急物資)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	6,460	110	22,380	200kmを越え	1,650
20	9,300	120	23,320	500kmまで20km	
30	10,820	130	24,250	を増すごとに	
40	12,330	140	25,180		
50	13,860	150	26,120	500kmを越え	4,140
60	15,370	160	27,060	50kmを増すごとに	
70	16,890	170	27,980		
80	18,410	180	28,910		
90	19,940	190	29,850		
100	21,450	200	30,790		

(注) 届出運賃の事例をもとに設定 (消費税抜き)

解説書改定版

P2-13-29

表2-13-19 陸上輸送の走行速度(緊急物資)

キロ程	運賃率	キロ程	運賃率	キロ程	運賃率
kmまで	円	kmまで	円		円
10	6,560	110	22,730	200kmを越え	1,680
20	9,450	120	23,690	500kmまで20km	
30	10,990	130	24,630	を増すごとに	
40	12,520	140	25,580		
50	14,080	150	26,530	500kmを越え	4,210
60	15,610	160	27,490	50kmを増すごとに	
70	17,160	170	28,420		
80	18,700	180	29,370		
90	20,250	190	30,320		
100	21,790	200	31,280		

(注) 届出運賃の事例をもとに設定 (消費税抜き)。GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換。

P2-13-29

表2-13-19 陸上輸送の走行速度(緊急物資)

区分	走行速度
港湾直背後から20km圏の道路	5 km/h
それ以外の道路	34.5 km/h

(注1) 港湾直背後から20km圏の道路の走行速度は、阪神・淡路大震災後のヒアリングをもとに想定

(注2) それ以外の道路は、「平成17年度道路交通センサス」((社)交通工学研究会、平成19年8月)をもとに道路種別別沿道状況別改良未改良別整備未整備別12時間平均交通量表(全国、平日)の混雑時平均旅行速度の一般道計より設定

P2-13-29

表2-13-19 陸上輸送の走行速度(緊急物資)

区分	走行速度
港湾直背後から20km圏の道路	5 km/h
それ以外の道路	33.3 km/h

(注1) 港湾直背後から20km圏の道路の走行速度は、阪神・淡路大震災後のヒアリングをもとに想定

(注2) それ以外の道路は、「平成22年度道路交通センサス」((社)交通工学研究会、平成24年12月)をもとに道路種別別沿道状況別改良未改良別整備未整備別12時間平均交通量表(全国、平日)の混雑時平均旅行速度の一般道計より設定

第13章 耐震強化施設整備プロジェクト

現行解説書

P2-13-34

表2-13-21 地震調査委員会において公表されているパラメータの例

	平均活動間隔 $\mu$	前回活動時期	ばらつき $\alpha$
南海地震	90.1年	1946年12月	0.22
東南海地震	86.4年	1944年12月	0.21
東海地震	118.8年	1854年12月	0.21

- (注1) 南海地震と東南海地震のパラメータは長期評価に基づく。なお、公表されているばらつき  $\alpha$  は南海地震で0.20～0.24、東南海地震で0.18～0.24とされており、ここではこれらの中央値とした。
- (注2) 東海地震については地震調査会による長期評価が行われていないため、活動間隔は明応～慶長(106.4年)、慶長～宝永(102.7年)、宝永～安政(147.2年)の平均値、ばらつき  $\alpha$  は東南海地震と同じ値とした。

解説書改定版

P2-13-34

表2-13-21 地震調査委員会において公表されているパラメータの例

	平均活動間隔 $\mu$	前回活動時期	ばらつき $\alpha$
南海地震	90.1年	1946年12月	0.22
東南海地震	86.4年	1944年12月	0.21
東海地震	118.8年	1854年12月	0.21
南海トラフ	88.2年	1946年12月	0.22

- (注1) 南海地震と東南海地震のパラメータは長期評価に基づく。なお、公表されているばらつき  $\alpha$  は南海地震で0.20～0.24、東南海地震で0.18～0.24とされており、ここではこれらの中央値とした。
- (注2) 東海地震については地震調査会による長期評価が行われていないため、活動間隔は明応～慶長(106.4年)、慶長～宝永(102.7年)、宝永～安政(147.2年)の平均値、ばらつき  $\alpha$  は東南海地震と同じ値とした。
- (注3) 南海トラフをこれまでのような南海・東南海領域という区分をせず、南海トラフ全体を一つの領域として考えた値である。なお、ばらつき  $\alpha$  は0.20～0.24で、ここではこれらの中央値としている。

第14章 小型船だまり整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-14-24

表2-14-12 小型船舶(ポートサービス船等)の乗組員の人件費

分 類	乗組員の人件費 CMi
ポートサービス船	11,600 円/隻・時
作業船	16,300 円/隻・時
官公庁船	31,400 円/隻・時

(注) 船員労働統計の特殊船乗組員の平均的給与および内航船舶明細書により算出した内航小型船舶の平均的な乗組員数から設定(消費税抜き)

P2-14-24

表2-14-12 小型船舶(ポートサービス船等)の乗組員の人件費

分 類	乗組員の人件費 CMi
ポートサービス船	11,700 円/隻・時
作業船	16,400 円/隻・時
官公庁船	32,700 円/隻・時

(注) 船員労働統計の特殊船乗組員の平均的給与および内航船舶明細書により算出した内航小型船舶の平均的な乗組員数から設定(消費税抜き)  
(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換)

P2-14-24

表2-14-13 小型船舶(ポートサービス船等)の乗組員の運航費

分 類	運航費 CHi
ポートサービス船	32,200 円/隻・時
作業船	24,000 円/隻・時
官公庁船	65,100 円/隻・時

(注) 運航費は、小型船舶の人件費、燃料費をもとに想定(消費税抜き)

P2-14-24

表2-14-13 小型船舶(ポートサービス船等)の乗組員の運航費

分 類	運航費 CHi
ポートサービス船	32,300 円/隻・時
作業船	24,100 円/隻・時
官公庁船	66,400 円/隻・時

(注) 運航費は、小型船舶の人件費、燃料費をもとに想定(消費税抜き)  
(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換)

P2-14-42

表2-14-16 漁船の運航費

分 類	乗組員の人件費 CMi
20G/T未満	4,000 円/隻・時
20~100G/T未満	18,300 円/隻・時
100~500G/T	34,300 円/隻・時

(注) 全国の平均的な漁業者所得、燃料費をもとに想定  
(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税抜き)

P2-14-42

表2-14-16 漁船の運航費

分 類	乗組員の人件費 CMi
20G/T未満	3,800 円/隻・時
20~100G/T未満	23,400 円/隻・時
100~500G/T	43,900 円/隻・時

(注) 全国の平均的な漁業者所得、燃料費をもとに想定  
(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税抜き)

第14章 小型船だまり整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-14-49

表2-14-18 漁業者の人件費

分 類	乗組員の人件費 CMi
20G/T未満	1,650 円/人・時
20～100G/T未満	1,680 円/人・時
100～500G/T	1,680 円/人・時

(注) 全国の平均的な漁業者所得をもとに想定

(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税抜き)

P2-14-49

表2-14-18 漁業者の人件費

分 類	乗組員の人件費 CMi
20G/T未満	1,560 円/人・時
20～100G/T未満	2,260 円/人・時
100～500G/T	2,260 円/人・時

(注) 全国の平均的な漁業者所得をもとに想定

(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税抜き)

P2-14-64

表2-14-30 小型船舶(漁船等)の海難事故損失額

分 類	修理費用 (百万円/隻)	漁業者休業 損失額 (円/隻)	海難事故損失額 CKi (円/隻)
20G/T未満	10.0	213,000	10,213,000
20～100G/T未満	73.6	1,693,000	75,293,000
100～500G/T	119.6	3,199,000	122,799,000

(注) 一般的な修理費用、休業日数等をもとに設定

(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税抜き)

P2-14-64

表2-14-30 小型船舶(漁船等)の海難事故損失額

分 類	修理費用 (百万円/隻)	漁業者休業 損失額 (円/隻)	海難事故損失額 CKi (円/隻)
20G/T未満	13.1	201,000	13,256,000
20～100G/T未満	55.6	2,278,000	57,900,000
100～500G/T	158.0	4,303,000	162,297,000

(注) 一般的な修理費用、休業日数等をもとに設定

(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税抜き)

第15章 避難港整備プロジェクト

現行解説書

P2-15-20

表2-15-12 死亡者・負傷者1人当りの人的損失額

区分	項目	損失額
死亡者	逸失利益	54.5 百万/人
	精神的損害	215 百万/人
負傷者	逸失利益	1.09 百万/人
	医療費	0.52 百万/人
	精神的損害	0.25 百万/人

(注1) 死亡者の逸失利益は平成21年船員労働統計（国土交通省）の平均年齢、平均年収をもとに、ライプニッツ法により算出、死亡者の精神的損害は、交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査研究報告書（平成19年）及び公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）（平成20年）より設定（GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない）

(注2) 負傷者1人当りの逸失利益は、「海難審判裁判決録（1978年～2005年）」に記載されている海難による負傷内容に基づき平成21年船員労働統計（国土交通省）の平均収入等を用いて算出、医療費および精神的損害（慰謝料）は、「自動車損害賠償責任保険の保険金等および自動車損害賠償責任共済の共済金等の支払い基準（平成14年4月1日施行）」より設定（GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない）

P2-15-25

表2-15-15 対象船舶の航行速度

船型	100～	500～	1,000～
	500GT	1,000GT	3,000GT
運航速度	12.0Knot	12.9Knot	14.2Knot

(注) 日本海運集会所資料データ

解説書改定版

P2-15-20

表2-15-12 死亡者・負傷者1人当りの人的損失額

区分	項目	損失額
死亡者	逸失利益	54.1 百万/人
	精神的損害	213 百万/人
負傷者	逸失利益	1.02 百万/人
	医療費	0.67 百万/人
	精神的損害	0.23 百万/人

(注1) 死亡者の逸失利益は平成26年船員労働統計（国土交通省）の平均年齢、平均年収をもとに、ライプニッツ法により算出、死亡者の精神的損害は、交通事故の被害・損失の経済的分析に関する調査研究報告書（平成19年）及び公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）（平成20年）より設定（GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない）

(注2) 負傷者1人当りの逸失利益は、「海難審判裁判決録（1978年～2005年）」に記載されている海難による負傷内容に基づき平成26年船員労働統計（国土交通省）の平均収入等を用いて算出、医療費および精神的損害（慰謝料）は、「自動車損害賠償責任保険の保険金等および自動車損害賠償責任共済の共済金等の支払い基準（平成14年4月1日施行）」より設定（GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない）

表2-15-15 対象船舶の航行速度

船型	100～	500～	1,000～
	500GT	1,000GT	3,000GT
運航速度	12.1Knot	12.5Knot	14.5Knot

(注) 日本海運集会所資料データ



第15章 避難港整備プロジェクト

現行解説書

P2-15-21

表2-15-13 損失項目別の期待損失額 (単位::千円/隻)

項目	損傷区分 (i)	船型区分(n)		
		100GT～	500GT～	1,000GT～
		500GT未満	1,000GT未満	3,000GT未満
船舶損傷に伴う 損害額	全 損	436,880	680,870	1,065,760
	重大損傷	305,820	476,610	746,030
	軽微損傷	87,380	136,170	213,150
(A) 船舶修繕期間中 の損失額	全 損	204,980	248,200	335,800
	重大損傷	134,780	163,200	220,800
	軽微損傷	33,700	40,800	55,200
(B) 人的損失額 (死亡)	全 損	242,550	242,550	242,550
	重大損傷	26,950	26,950	26,950
	軽微損傷	0	0	0
(C1) 人的損失額 (負傷)	全 損	186	186	186
	重大損傷	186	186	186
	軽微損傷	0	0	0
(C2) 積み荷損失額	全 損	18,370	35,610	91,080
	重大損傷	11,020	21,370	54,650
	軽微損傷	3,670	7,120	18,220
(D) 事故船処理に 伴う損失額	全 損	66,000	66,000	66,000
	重大損傷	95,000	95,000	95,000
	軽微損傷	0	0	0
(E) 流出油による海 洋環境汚染に伴 う損失額(F)	全 損	11,330	17,850	24,830
	重大損傷	11,330	17,850	24,830
	軽微損傷	0	0	0

(注) ここでいう一隻あたりとは、本プロジェクトで需要の対象とする船舶一隻あたりのもので、ここに示す損失額は、第2部第16章で示す海難発生時に船社が負担する金銭的損失の算出に係わる各種原単位を用い、我が国の沿岸域を航行する一般貨物船、油送船の割合を考慮し、平均的な船舶ならびに荒天に起因する海難を想定して推計した値である(すべてはGDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)。  
なお、第2部第16章とは、海難の原因が異なる。その結果、例えば死亡率等の値が異なるため、第2部第16章とは別の値となっている項目がある。

解説書改定版

P2-15-21

表2-15-13 損失項目別の期待損失額 (単位::千円/隻)

項目	損傷区分 (i)	船型区分(n)		
		100GT～	500GT～	1,000GT～
		500GT未満	1,000GT未満	3,000GT未満
船舶損傷に伴う 損害額	全 損	438,400	680,000	1,060,600
	重大損傷	306,900	476,000	742,400
	軽微損傷	87,700	136,000	212,100
(A) 船舶修繕期間中 の損失額	全 損	211,300	255,500	328,500
	重大損傷	139,000	168,000	216,000
	軽微損傷	34,700	42,000	54,000
(B) 人的損失額 (死亡)	全 損	240,400	240,400	240,400
	重大損傷	26,700	26,700	26,700
	軽微損傷	0	0	0
(C1) 人的損失額 (負傷)	全 損	200	200	200
	重大損傷	200	200	200
	軽微損傷	0	0	0
(C2) 積み荷損失額	全 損	18,400	35,600	91,100
	重大損傷	11,000	21,400	54,700
	軽微損傷	3,700	7,100	18,200
(D) 事故船処理に 伴う損失額	全 損	66,000	66,000	66,000
	重大損傷	95,000	95,000	95,000
	軽微損傷	0	0	0
(E) 流出油による海 洋環境汚染に伴 う損失額(F)	全 損	11,300	17,900	24,800
	重大損傷	11,300	17,900	24,800
	軽微損傷	0	0	0

(注) ここでいう一隻あたりとは、本プロジェクトで需要の対象とする船舶一隻あたりのもので、ここに示す損失額は、第2部第16章で示す海難発生時に船社が負担する金銭的損失の算出に係わる各種原単位を用い、我が国の沿岸域を航行する一般貨物船、油送船の割合を考慮し、平均的な船舶ならびに荒天に起因する海難を想定して推計した値である(すべてはGDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)。  
なお、第2部第16章とは、海難の原因が異なる。その結果、例えば死亡率等の値が異なるため、第2部第16章とは別の値となっている項目がある。

第16章 開発保全航路整備プロジェクト

現行解説書

P2-16-19

表2-16-10 一般商船の船種船型単位時間当り輸送費用

(単位:万円/隻・時)

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	LPG・LNG船	タンカー	フェリー・旅客船
100～ 500	2.4	-	-	-	2.2	1.6
500～ 1,000	2.9	6.3	-	-	2.7	2.0
1,000～ 3,000	3.8	8.3	-	4.6	3.8	3.2
3,000～ 10,000	4.8	10.4	4.1	5.1	5.5	7.3
10,000～ 20,000	5.8	12.6	5.2	10.3	6.6	15.1
20,000～ 50,000	9.2	20.0	7.7	13.5	9.1	33.5
50,000～100,000	23.2	-	12.7	17.1	14.1	-
100,000～150,000	-	-	-	24.7	20.3	-
150,000～200,000	-	-	-	-	26.6	-

(注) 船社ヒアリング等より設定  
(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)

P2-16-21

表2-16-12 コンテナ船1隻当りの積載コンテナ個数算出式

$$Y = (0.087 X + 113.7) \times \text{消席率}$$

ここで X=船型(総トン数/隻)  
Y=コンテナ積載個数(TEU/隻)

(注)全国的な動向より設定

表2-16-11 国際海上コンテナ貨物の時間費用原単位

第2部第1章参照のため記載省略

表2-16-13 ユニットロード貨物の時間費用原単位

第2部第2章参照のため記載省略

解説書改定版

P2-16-19

表2-16-10 一般商船の船種船型単位時間当り輸送費用

(単位:万円/隻・時)

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	LPG・LNG船	タンカー	フェリー・旅客船
100～ 500	2.4	-	-	-	2.2	1.6
500～ 1,000	2.9	6.3	-	-	2.7	2.0
1,000～ 3,000	3.8	8.3	-	4.5	3.8	3.2
3,000～ 10,000	4.8	10.4	4.1	5.1	5.5	7.3
10,000～ 20,000	5.8	12.6	5.2	10.3	6.5	15.1
20,000～ 50,000	9.2	20.0	7.7	13.5	9.0	33.5
50,000～100,000	23.1	-	12.7	17.1	14.0	-
100,000～150,000	-	-	-	24.6	20.3	-
150,000～200,000	-	-	-	-	26.5	-

(注) 船社ヒアリング等より設定  
(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)

表2-16-12 コンテナ船1隻当りの積載コンテナ個数算出式

$$Y = (0.089 X + 94.85) \times \text{消席率}$$

ここで X=船型(総トン数/隻)  
Y=コンテナ積載個数(TEU/隻)

(注)全国的な動向より設定

表2-16-11 国際海上コンテナ貨物の時間費用原単位

第2部第1章参照のため記載省略

表2-16-13 ユニットロード貨物の時間費用原単位

第2部第2章参照のため記載省略

第16章 開発保全航路整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-16-26

表2-16-16 L換算係数

船型区分	平均全長	L換算係数
100～ 500GT	49.93m	1.00
500～ 1,000GT	71.39m	1.43
1,000～ 3,000GT	90.26m	1.81
3,000～ 10,000GT	118.85m	2.38
10,000～ 20,000GT	170.72m	3.42
20,000～ 50,000GT	201.64m	4.04
50,000～100,000GT	264.31m	5.29
100,000～150,000GT	294.91m	5.91
150,000～200,000GT	332.06m	6.65

- (注1) 平均全長は「船舶明細書2010 (日本海運集会所)」に収録されている船舶データから各船型別に平均全長を算出したものである。
- (注2) L換算係数とは海上交通工学において船の長さが衝突の危険度に比例するとして一般的に使用されているものである。表中のL換算係数は100GT以上～500GT未満の船舶を標準船型(当該船の平均全長(49.93m)を1とする)として、各船型の平均全長の比率を求めたものである。

P2-16-26

表2-16-16 L換算係数

船型区分	平均全長	L換算係数
100～ 500GT	50.47m	1.00
500～ 1,000GT	72.09m	1.43
1,000～ 3,000GT	89.80m	1.78
3,000～ 10,000GT	115.89m	2.30
10,000～ 20,000GT	171.55m	3.40
20,000～ 50,000GT	208.31m	4.13
50,000～100,000GT	265.73m	5.27
100,000～150,000GT	302.48m	5.99
150,000～200,000GT	331.60m	6.57

- (注1) 平均全長は「船舶明細書2015 (日本海運集会所)」に収録されている船舶データから各船型別に平均全長を算出したものである。
- (注2) L換算係数とは海上交通工学において船の長さが衝突の危険度に比例するとして一般的に使用されているものである。表中のL換算係数は100GT以上～500GT未満の船舶を標準船型(当該船の平均全長(50.47m)を1とする)として、各船型の平均全長の比率を求めたものである。

P2-16-35

表2-16-18 漁船・プレジャーボートの新造船価

船種		新造船価
漁船	20GT未満	50 百万円/隻
	20GT以上～100GT未満	368 百万円/隻
	100GT以上～500GT未満	598 百万円/隻
プレジャーボート		6 百万円/隻

- (注1) 漁船の新造船価格は、造船造機統計(国土交通省;平成16年1月～平成20年12月)の建造単価により平均値を設定(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)
- (注2) プレジャーボートの新造船価格は、メーカー資料により1隻当りの平均価格を設定(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)

P2-16-35

表2-16-18 漁船・プレジャーボートの新造船価

船種		新造船価
漁船	20GT未満	50 百万円/隻
	20GT以上～100GT未満	368 百万円/隻
	100GT以上～500GT未満	597 百万円/隻
プレジャーボート		6 百万円/隻

- (注1) 漁船の新造船価格は、造船造機統計の建造単価により平均値を設定(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)
- (注2) プレジャーボートの新造船価格は、メーカー資料により1隻当りの平均価格を設定(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)

第16章 開発保全航路整備プロジェクト

現行解説書

P2-16-36

表2-16-19 一般商船の船種船型別の新造船価 (単位:百万円/隻)

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	LPG・LNG船	タンカー	フェリー・旅客船
100～ 500	429	433	-	-	467	470
500～ 1,000	622	-	554	664	740	747
1,000～ 3,000	854	1,746	-	1,329	1,116	2,282
3,000～ 10,000	1,460	5,551	1,826	1,664	1,808	2,864
10,000～ 20,000	2,132	4,648	3,524	4,777	3,038	8,351
20,000～ 50,000	2,918	-	3,878	6,183	3,706	-
50,000～100,000	4,983	-	8,039	-	8,474	-
100,000～150,000	5,254	-	-	-	19,443	-
150,000～200,000	7,211	-	-	-	19,722	-

(注) 造船造機統計(国土交通省;平成16年1月～平成20年12月)の建造単価により平均値を設定(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)

P2-16-40

表2-16-22 一般商船の船種船型別チャーター料 (単位:万円/隻・日)

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	LPG・LNG船	タンカー	フェリー・旅客船
100～ 500	57	-	-	-	53	38
500～ 1,000	70	152	-	-	66	48
1,000～ 3,000	92	200	-	109	92	76
3,000～ 10,000	114	249	100	121	132	175
10,000～ 20,000	139	303	125	247	157	363
20,000～ 50,000	221	481	185	324	217	805
50,000～100,000	556	-	305	410	337	-
100,000～150,000	-	-	-	592	487	-
150,000～200,000	-	-	-	-	637	-

(注) 船社ヒアリング等より設定(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)

解説書改定版

P2-16-36

表2-16-19 一般商船の船種船型別の新造船価 (単位:百万円/隻)

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	LPG・LNG船	タンカー	フェリー・旅客船
100～ 500	430	430	-	-	470	470
500～ 1,000	620	-	550	660	740	750
1,000～ 3,000	850	1,740	-	1,330	1,110	2,280
3,000～ 10,000	1,460	5,550	1,820	1,660	1,810	2,860
10,000～ 20,000	2,130	4,640	3,520	4,770	3,030	8,340
20,000～ 50,000	2,910	-	3,870	6,180	3,700	-
50,000～100,000	4,980	-	8,030	-	8,470	-
100,000～150,000	5,250	-	-	-	19,420	-
150,000～200,000	7,200	-	-	-	19,700	-

(注) 造船造機統計の建造単価により平均値を設定(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)

P2-16-40

表2-16-22 一般商船の船種船型別チャーター料 (単位:万円/隻・日)

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	LPG・LNG船	タンカー	フェリー・旅客船
100～ 500	60	-	-	-	50	40
500～ 1,000	70	150	-	-	70	50
1,000～ 3,000	90	200	-	110	90	80
3,000～ 10,000	110	250	100	120	130	170
10,000～ 20,000	140	300	120	250	160	360
20,000～ 50,000	220	480	180	320	220	800
50,000～100,000	560	-	300	410	340	-
100,000～150,000	-	-	-	590	490	-
150,000～200,000	-	-	-	-	640	-

(注) 船社ヒアリング等より設定(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)

第16章 開発保全航路整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-16-40

表2-16-23 漁船・プレジャーボートの休業損失額

船種		新造船価
漁船	20GT未満	15,200 円/隻・日
	20GT以上～100GT未満	120,200 円/隻・日
	100GT以上～500GT未満	227,100 円/隻・日
プレジャーボート		25,000 円/隻・日

- (注1) 漁船の休業損失額は、平成13～19年漁業経営調査報告書（農林水産省統計情報部）、第11次漁業センサス（農林水産省統計情報部；平成18年3月）より設定（GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない）  
 (注2) プレジャーボートの休業損失額は事業者ヒアリング等により設定（GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない）

P2-16-40

表2-16-23 漁船・プレジャーボートの休業損失額

船種		新造船価
漁船	20GT未満	15,200 円/隻・日
	20GT以上～100GT未満	120,100 円/隻・日
	100GT以上～500GT未満	226,900 円/隻・日
プレジャーボート		25,000 円/隻・日

- (注1) 漁船の休業損失額は、漁業経営調査報告書（農林水産省統計情報部）等より設定（GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない）  
 (注2) プレジャーボートの休業損失額は事業者ヒアリング等により設定（GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない）

P2-16-42

表2-16-25 死亡者・負傷者1人当りの人的損失額

P2-15-20 と同じため記載省略

表2-16-25 死亡者・負傷者1人当りの人的損失額

P2-15-20 と同じため記載省略

P2-16-44

表2-16-26 船種船型別積載貨物トン単価

船種区分		積載貨物トン単価
一般貨物船	100GT以上500GT未満	82,000 円/トン
	500GT以上1,000GT未満	57,000 円/トン
	1,000GT以上	24,000 円/トン
自動車専用船		1,722,000 円/トン
コンテナ船		186,000 円/トン
LPG船・LNG船		64,000 円/トン
タンカー		55,000 円/トン

- (注) 船種別に積み荷を設定し、全国的な貿易金額（平成20年貿易統計）等をもとに設定（GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない）

P2-16-44

表2-16-26 船種船型別積載貨物トン単価

船種区分		積載貨物トン単価
一般貨物船	100GT以上500GT未満	82,000 円/トン
	500GT以上1,000GT未満	57,000 円/トン
	1,000GT以上	24,000 円/トン
自動車専用船		1,720,000 円/トン
コンテナ船		186,000 円/トン
LPG船・LNG船		64,000 円/トン
タンカー		55,000 円/トン

- (注) 船種別に積み荷を設定し、全国的な貿易金額等をもとに設定（GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない）

第16章 開発保全航路整備プロジェクト

現行解説書

解説書改定版

P2-16-45

表2-16-28 船種船型別貨物消席率

船種区分		消席率
一般貨物船	100GT以上500GT未満	0.41
	500GT以上1,000GT未満	0.41
	1,000GT以上	0.50
自動車専用船		0.50
コンテナ船		0.65
LPG船・LNG船		0.50
タンカー		0.50

(注1) 一般貨物船の1,000GT未満の貨物消席率は内航船であると設定し、「内航船舶輸送統計年報」(平成20年)を用いて消席率を算出

(注2) その他の船舶の貨物消席率は、一般的な貨物輸送状況をもとに設定

P2-16-45

表2-16-28 船種船型別貨物消席率

船種区分		消席率
一般貨物船	100GT以上500GT未満	0.43
	500GT以上1,000GT未満	0.43
	1,000GT以上	0.50
自動車専用船		0.50
コンテナ船		0.70
LPG船・LNG船		0.50
タンカー		0.50

(注1) 一般貨物船の1,000GT未満の貨物消席率は内航船であると設定し、「内航船舶輸送統計年報」(平成26年)を用いて消席率を算出

(注2) その他の船舶の貨物消席率は、一般的な貨物輸送状況をもとに設定

P2-16-46

表2-16-30 損傷別事故船処理費用

海難損傷区分	事故船処理費用
全損	66 百万円/隻
重大損傷	95 百万円/隻

(注) 一般的な事故船処理に要する作業船使用料、作業人件費、救助報酬費等をもとに設定

(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)

P2-16-46

表2-16-30 損傷別事故船処理費用

海難損傷区分	事故船処理費用
全損	66 百万円/隻
重大損傷	95 百万円/隻

(注) 一般的な事故船処理に要する作業船使用料、作業人件費、救助報酬費等をもとに設定

(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)

P2-16-48

表2-16-32 単位流出油量当たりの損失額

単位損失額	3 百万円/キログラム
-------	-------------

(注) 日本国領海内で発生した油流出を伴う海難1件毎に単位流出油量当りの補償額(油除去費、油濁防除費、漁業補償費、損害賠償費の合計値)を算出し、それらの平均値を求めて作成した値(GDPデフレーターにより平成21年度価格に変換、消費税は含まない)

(出典) 「国際油濁補償基金データ」(annual report 2008)

P2-16-48

表2-16-32 単位流出油量当たりの損失額

単位損失額	3 百万円/キログラム
-------	-------------

(注) 日本国領海内で発生した油流出を伴う海難1件毎に単位流出油量当りの補償額(油除去費、油濁防除費、漁業補償費、損害賠償費の合計値)を算出し、それらの平均値を求めて作成した値(GDPデフレーターにより平成27年度価格に変換、消費税は含まない)

(出典) 「国際油濁補償基金データ」(annual report 2013)

第16章 開発保全航路整備プロジェクト

現行解説書

P2-16-45

表2-16-34 船種船型別の単位運航時間当りのCO2排出量

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	タンカーLPG	フェリー旅客船
100～ 500	168	-	207	161	267
500～ 1,000	177	-	236	171	330
1,000～ 3,000	201	489	315	199	507
3,000～ 10,000	288	641	601	300	1,142
10,000～ 20,000	453	929	1,141	492	2,341
20,000～ 50,000	841	1,605	2,411	942	5,163
50,000～100,000	1,617	-	4,951	1,842	-
100,000～150,000	2,587	-	-	2,967	-
150,000～200,000	3,557	-	-	4,092	-

(注) 燃料使用量は、「船舶明細書2010 (日本海運集会所)」等から設定。また、単位運航時間当りCO2排出量は、以下の計算式より設定

$$\text{単位運航時間当りCO2排出量} = \text{単位運航時間当り燃料使用量} \times 801.64 \text{ (kg-C/t)}$$

解説書改定版

P2-16-45

表2-16-34 船種船型別の単位運航時間当りのCO2排出量

船型区分	一般貨物	自動車専用船	コンテナ船	タンカーLPG	フェリー旅客船
100～ 500	188	-	207	137	208
500～ 1,000	196	-	237	146	271
1,000～ 3,000	220	507	320	172	447
3,000～ 10,000	306	654	621	264	1,081
10,000～ 20,000	469	933	1,188	438	2,279
20,000～ 50,000	852	1,589	2,523	847	5,098
50,000～100,000	1,618	-	5,194	1,664	-
100,000～150,000	2,576	-	-	2,686	-
150,000～200,000	3,533	-	-	3,708	-

(注) 燃料使用量は、「船舶明細書2015 (日本海運集会所)」等から設定。また、単位運航時間当りCO2排出量は、以下の計算式より設定

$$\text{単位運航時間当りCO2排出量} = \text{単位運航時間当り燃料使用量} \times 801.64 \text{ (kg-C/t)}$$